



さが山の学校



CONTENTS

- 新議員紹介／新農業委員等
- 一般質問（9人）
- 各常任委員会Q&A
- 編集後記

6月3日（土）、江北町が一望できるさが山農園（岳地区）にて、「さが山の学校」が開催され、カヌー体験、畑でアート、自然観察会など「遊び」「学び」「創造」の記憶に残る体験となった。中山間地振興に取り組む団体「さが山の学校」は、有機農業体験などができ、交流人口を増やして活性化につなげている。

江北町議会議員

議員紹介



後列 酒井 明子 古賀 里美 三苫紀美子 江頭 義彦 田村 康
 前列 土淵 茂勝 田中 宏之 井上 敏文 池田 和幸 西原 好文

議長 井上 敏文
 副議長 田中 宏之
 総務常任委員長 池田 和幸
 産業厚生常任委員長 土淵 茂勝
 議会運営委員長 西原 好文

農業委員会委員の任命(13名)

(任期：3年)
 令和5年7月20日

- 谷口 重光 氏
 - 中島 吉信 氏
 - 古賀 健則 氏
 - 武富 友清 氏
 - 田中 輝孝 氏
 - 相原 里美 氏
 - 井上 勝則 氏
 - 大串 弘之 氏
 - 百崎 政光 氏
 - 土井 雅義 氏
 - 田中 満也 氏
 - 橋本 秀徳 氏
 - 岸川 満子 氏
- (任命同意)

人権擁護委員候補者の推薦

- 平川 年明 氏
 - 武富 由美 氏
- (推薦同意)

【お詫びと訂正】

議会だより(令和5年3月定例会)に掲載しました記事におきまして、誤りがありました。深くお詫びして訂正いたします。

■2頁 令和5年度当初予算総額(正)

68億6,000万円(誤)

議長交際費の公表

議長が町議会を代表し、対外活動等のために支出した交際費を公表します。

交際費支出状況(令和5年4月、6月支出)

項目	件数	支出額
ご祝儀	1	5,000円
会費	1	10,000円
その他	1	3,300円
合計	3	18,300円

酒井明子

議員



義務教育学校構想(県立大学誘致となれば)

町長 県立大学誘致のためでないので発想は全くない
学校づくり推進室長 小中学校の施設に影響がないよう配慮する

議員 町の未来を担う子ども達の大切な学校構想。2年前、自分が町長の間は学校の建て替えはないと断言。今回建て替えの話となり、賛否両論ある中、校舎の老朽化、子どもが学ぶ場は環境整備としては最重要課題。校舎の環境は児童・生徒の生活態度に反映され、落ち着き具合にも影響する。3月議会、町長が県立大学誘致に向けて小学校の「跡地活用」と言うキーワードに不安を感じる保護者の声が多かった。県立大学誘致が小学校の場所に決まった場合どのような対応をされるのか。

町長 県立大学誘致について町として色々なことを想定しているが、町の教育環境がどうあるべきかの検討が先決。その結果によって、県立大学誘致の町のスタンスも変わらると思う。

	義務教育学校	小中一貫校
校長	1人	小学校・中学校に1人ずつ
教職員組織	1つ <small>※小学校・中学校の教員免許</small>	小学校・中学校に1つずつ
学年	1年生～9年生	小学1年生～6年生 中学1年生～3年生
カリキュラム	自由に組み立て <small>例)1年生から英語教育・5年生から中学の内容先取り</small>	決まっている
メリット	「中1ギャップ」の解消 異年齢交流の活性化 重層的なみとり	新たな変化への対応力 教職員の多忙化 ※人間関係の固定化

学校づくり推進室長 県立大学の場所がどこらになろうとも小・中学校の施設に影響がないよう配慮していきたい。

議員 体育館は今後もう一つ中学校敷地内出来る予定。誘致が決まれば中学校敷地だけでは子ども達の教育の場が奪われるのでは。

「義務教育学校」と「小中一貫校」の違い

町長 県立大学誘致のためでないので発想は全くない。

議員 義務教育学校のホームページの説明をお願いします。

学校づくり推進室長 義務教育過程においてこれまでの枠にとられず、学習のみならずスポーツ・文化・芸術など9年間を通じて体験・実践、個性を伸ばし多様な芽を育てていける教育ができる学校を考えている。

議員 32回(延べ740人)の説明会。数ではなく納得いく説明会でないという意味がない。今後の工夫は、**教育長** 決めていく内容、検討した内容、その都度、随時説明会を持ちたい。

独り暮らしの高齢者の安全・安心には

町長 色々な取り組みを複層的にやり、孤独死を可能な限り減らす

議員 江北町は佐賀県でも唯一人口動態が安定している町として誇らしく思うが、独り暮らしの高齢者の割合が日中独居も含み高い事は事実。屋内で独り倒れられ、救急搬送、中には死に至る事例も。対策として町では、高齢者見守りネットワークやへそのまちお助けサポーター等があるが、今回は「緊急通報装置」の利用状況と助かった事例の説明を。また、今後の町の対応は、

行ったのが5件、協力者による病院への搬送が1件。周知方法は、ホームページに掲載、民生委員、ケアマネジャー、地域包括センターからの周知、75歳以上の独居世帯、高齢夫婦のみの世帯に戸別訪問で緊急通報システムを勧めている。

町長 緊急通報装置を広げることだけでなく、問題意識は高齢者の孤独死を減らすこと。ご指摘の通り、町全体で見守る風土、体制、空気、意識、涵養する事が大事。色々な取り組みを複層的にやることで、可能な限り減らすことが町のスタンスである。



活用を願う緊急通報装置

社会体育施設の空調設備設置の協議は



古賀里美 議員

町長 防災インフラの整備に活用できる緊防債が令和7年度まで活用可能。財源を前提に早めに結論をだしたい

議員 近年、頻発する豪雨、大型台風襲来のためネイブルを避難所として開設する頻度が増加している。昨年9月、台風14号が接近した際にもネイブルに避難所が開設された。しかしネイブルには空調設備がないため、その環境は良好とは言えないものだった。またスポーツ大会やイベント会場として町内だけでなく、県外からも数多くの利用があるが、空調設備がないために利用を断念した事例もある。空調設置についての現在の協議の状況は。

こども教育課長 ランニングコストが少し高額になる。空調を使用した場合、1時間当たり5,400円の費用がかかる試算。競技団体へ聞き取りを行い、通常利用で空調使用は難しいと判断した。しかし現在、夏場のスポーツ利用で、熱



空調の整備が望まれるネイブル

中症等危惧されることも多く、今後は財源の期限も考慮し、協議をしていきたいと考えている。

町長 避難所の環境整備のため、ネイブルに空調設置を検討していたが、町内の他施設整備を優先したため、設置検討が中断していた。しかし、整備に活用できる財源「緊急防災・減災事業債」の期限である、令和7年度までに整備が必要なのかどうかを含め、きちんと整理して早めに結論を出したい。

議員 日本気象協会が発表した今年の佐賀県の気温予報は、去年より危険ランクの日が多くなると予報が出ている。環境省が推奨する身体に必要な適温は室温28度。この室温が安全を保てる適温である。避難者や利用者が目につく場所に室内温度（温度計）の設置をし、一人ひとりが自分の安全を保てるように配慮をお願いしたい。

また、B&Gトレーニングセンターにも空調設備がない。35度以上の熱い室内で子供たちは稽古やダンスを行っている。B&Gトレーニングセンターに空調を求める声は届いているのか。

こども教育課長 空調設置を求める声が以前からあること、夏場の高温の中で施設を利用するため熱中症の危険性があることも十分認

識している。これまで空調設置に関する基本的な考え方を整理できなかったことを大変心

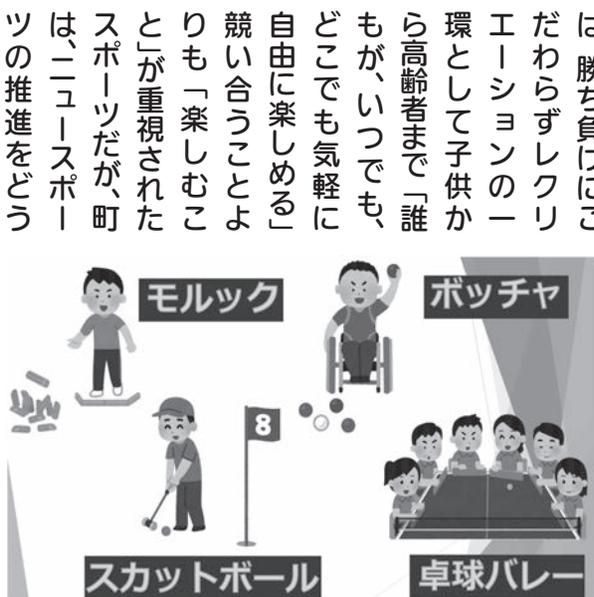
多くの人が気軽に楽しめる
ニュースポーツの推進は

こども教育課長 町も町民への周知と参加
機会の提供に努めたい

議員 健康で元気な高齢化社会をつくるには、ひきこもりや寝たきりにさせない地域の協力が不可欠である。「ニュースポーツ」は勝ち負けにこだわらずレクリエーションの環境として子供から高齢者まで「誰もが、いつでも、どこでも気軽に自由楽しめる」競い合うことよりも「楽しむこと」が重視されたスポーツだが、町は、ニュースポーツの推進をどう

考えているか。

こども教育課長 町は、スポーツの町宣言をしており、町民への周知と参加機会の提供に努めたい。



みんなが楽しめるニュースポーツ

田村 康 議員



小田地区の排水、浸水対策

基盤整備課長 地元と協議し対応していきたい



SUMCOグラウンド横の側溝

議員 近年頻発化、激甚化する豪雨によって水害が発生し、小田地区においても日ノ出、新町、石原地区の平坦部は冠水している。左の写真はSUMCOグラウンド横の側溝で、町道からの流水により住宅地へ水が流れ込んでいる。新町地区においては、排水溝が狭く造りがおかしく堤の水、上流からの水でオーバーフローして道路側に流れ込んで住宅地が浸水している。町は駅周辺にばかり目が行き、

小田地区、小田商店街、特に町を30年支えてきた旧炭鉱地区への対応をおろそかにしているようにしか見えない。このような現状に対して町の対策はないのか。

特に上小田地区は高齢化が進み、独居老人も多く住まれている。人が住めるような町づくりをお願いしたい。

基盤整備課長 地元の課題につきましては、地域の区長や、議員から話を聞き、対応させていただいている。

今回、報告をいただいた箇所は、現地確認をし、課内で協議をして、対策実施の有無、また、地元との協議が必要であれば地元との協議をした上で対応をしていき、地区の課題に応じてしっかりとやっていきたいと思っています。

空き家対策について

基盤整備課長 空家対策協議会で議論し対応



新町区の空き屋 天井に穴

議員 空き家等の課題には諸問題がある。所有、相続の問題では、所有者等の死亡、長期入院等により管理不全となっている。所有者等が遠方に居住しているため管理が難しい。相続等の手続きがなされていない。

経済的な問題では、やはり解体するには解体に要する費用負担が困難。解体するこ

とで固定資産税が上がる。

利活用の問題では、管理売買等の相続先が分からない。無接道敷地等となつているため建て替え、売却が難しい等である。特定空家等の解体に対する補助制度は、

対象工事費の2分の1に相当する額を補助、但し上限50万円となっているが、判定の方法はどうなっているのか。以前立ち会って2軒並びの長屋を見てもらった際、天井に大きな穴が空いていれば特定空家となり補助金が受けられる。天井に穴が空いていなければ、隣近所に倒壊しつつあるのに

特定空家にはならないとの事だったが、特定空家の見方が変わったのか。

基盤整備課長 令和4年3月の条例改正後、特定空家の認定方法も変わっている。変更前は、職員で組織する不良度判定委員会で現地に出向き、評点を行い、積み上げ方式で採点をしていた。

しかし、条例改正後は、『空家等対策協議会』を設立し、建物の状態を判定したものを空家等対策協議会に諮って認定する方式に変わっている。判定の方法が変わったことで解体を希望するが、特定空家と判定されず、補助が受けられずに解体ができないという事態については、対応ができるよう空家等対策協議会でも議論している。

通学路の安全対策は

基盤整備課長 通行車の状況を見ながら検討したい



江頭義彦 議員



スムーズ横断歩道実証実験（江北小学校前）

議員 昨年11月15日から、小学校前の横断歩道を高くして、実施されていた調査の目的は、また、その結果を受けての対応は。

基盤整備課長 スムーズ横断歩道という、横断歩道を路面から10センチ高めて歩行者の視認性の向上や運転者から横断歩道上の人を見やすくした実証実験を行った。通行された方、

保護者、地元の方へのアンケートを実施して一定の速度抑制の効果があると判断されたため、常設に向けた取り組みを進めている。

議員 中学校付近でも危険な運転をする車がある為、中学校前にもスムーズ横断歩道を設置してほしいが。

基盤整備課長 まずは、小学校の西側の横断歩道に設置し、速度抑制効果を図り、中学校から東に向かう道路には本年度、交差点内をブルーに塗るブループロジェクトの対策と交差点の接続箇所の歩道部分にグリーンで歩行者が通る場所を特定できる安全対策を予定している。



排水が追い付かない大西鉄道橋付近

災害対策のための防災カメラの設置を

町長 事前落水をしっかりとやっていく

議員 町内では、どの地区が浸水するのか。

総務政策課長 最下流となる六角川や牛津川の沿岸エリアに必然的に流れ込むことになると思うが、上流部においても、排水の状況が悪い場合は浸水のリスクが考えられる。

朝鍋宿付近、大西鉄道橋付近、八町カント

町長 町は六角川の左岸、牛津川の右岸に位置し、両河川の最下流、かつ、その合流点に位置する。とにかく、



水路の水が玄関まで迫る佐留志地区

リー付近、山田橋付近、八町交差点付近が頻繁に浸水の被害が発生する地域になっている。

議員 本町でも防災カメラや浸水センサーの設置ができないか。

総務政策課長 防災カメラを設置する以上いろいろな方々に関わっていただいて、状況の把握に努めている。



浸水被害の発生する通学路

町の水は、六角川、牛津川を通じて有明海に流す以外、方法はないただ、海があるからといって、いつでも流せるわけではなく、流せる時間も限られている。町としては、事前落水により調整機能を高めることが大事だと考えている。事前落水をしっかりとやっていきたい。また、排水対策として水系ごとに連絡会を行い、排水対策協議会を設置した。

三吉紀美子

議員



議会質問に対する未回答事項の今後の対応は

総務政策課長 課長会議において三役及び全ての課長と共有し、協議した上で意見を集約し回答している

議員 議会の答弁結果、或いは議会回答内容を、町長とどのように協議しているか。特に答弁内容は、全て総意であると認識しているが。

総務政策課長 課長会議において三役及び全ての課長と情報共有をし、協議した上で意見を集約し回答している。

議員 平成25年9月江口、正徳からの要望書に対し、30年5月の回答書は、内部協議を十分行った結果を踏まえて回答されたと認識しているが、なかなか先には進まない。令和元年及び3年の2回、災害状況は全く解決しなかった。令和元年に現場検証され、回答内容のどこに不備があったか、協議されていれば、令和3年豪雨災害が少しでも解消していたのではないか。

総務政策課長 所管課において十分協議し、

町長、副町長とも協議した上で課長会議に諮り議会に回答している。

総合排水計画について問う

町長 流す、溜める、防ぐと3つの柱を打ち立てている

議員 目指すゼロは、一〇〇年に一度の降雨でも床上・床下浸水が発生しないとの解釈でよろしいか。

町長 住屋の床上・床下浸水ゼロを目指すとして総合排水計画の中で目標を掲げている。

議員 機場の整備のみで床上・床下浸水ゼロに近づくと考えているのか、再度質問する。

町長 排水対策として町では流す、溜める、防ぐと3つの柱を打ち立てた。流すについては強制排水能力の強化でこの中に機場の整備機能強化も入っている。

議員 床上・床下浸水ゼロを目標とするとされているが、農地保全の目的で設置された排水機で対応可能と考えているのか。

町長 排水機場は、町の重要な施設である。江北町鉱害復旧施設設置条例第1条に、「臨時石炭鉱害復旧法に基づき復旧工事により、鉱害が生じた土地物件が本来有していた効用を回復するため、鉱害復旧施設を設置する。」とされており、条例上は農業施設ということではなく鉱害復旧施設と定められている。

ご指摘のような規定は見当たらない。

議員 今回の機場整備は、床上・床下浸水をゼロにする。つまり家屋対策のための措置であり、条例に抵触すると判断している。

町長 農地を守るためにしか使えないということであれば、これだけ農地が宅地化された今、かつて農地だった宅地を守ることに使ってはいけないのか。町民の安心安全を守る責務がある。そのためには可能な限り施設を活用するのが我々の責務だと思っている。

議員 高良川問題の抜本的解決のために、「ポンプ能力の増強」を要望する。他の市町問題で苦しんでいるのは町内の住民。早急な対応を。

町長 実務者会議の中で高良川については、ぜひ共に問題を解決していきたい。

議員 町の「流す」の抜本的対策は、既設の農業用排水機の機場能力強化ではなく、高良川のようにポンプ能力の増強しかない

と考えるが。

町長 江北町は、六角川左岸、牛津川右岸に位置し、また河川は感潮河川のため、ポンプを増強したとしてもすべての水を流すことはできない。抜本的な対策を、流域治水協議会の中で色々と議論している。



東古川排水機場に新たに設置された燃料タンク

義務教育学校についての町民アンケートを求める！



土淵茂勝 議員

教育長 この場で即答はできない、十分に検討して対応したい

議員 2015年義務教育学校が制度化されたが、採択される前に3名の専門家による参考質問が行われ、問題点が3つほど指摘されている。

①小学校高学年、5年生6年生の自覚などこれまでであった子供の成長に有益なものが失われる。

②学校がマンモス化する。

③中学校のテスト体制や厳しい管理が小学校まで拡大する。

この指摘をどう認識しているか。

教育長 新しい学校において、リーダーシップや自主性を養う機会を創出することで解消できる。大町ひじり学園では、6年生で修了式、7年生で進級式を実施。文科省は、千人を超えるものをマンモス化しており、町は8百人程度で問題ない。

期末テストは、従前学期ごとに行われていたが現在、江北中では前期、後期の2学期制で行っており、余裕が出てくる実態。

管理体制が校則と云うことであれば、現在生徒会を中心に直直しがすめられている。

議員 中1ギャップについて、その解消が義務教育学校でできるとされているが、その科学的、教育的根拠があるのか。

教育長 科学的根拠はない。教育的根拠としては、6年生から中学1年生への階段を途切れず継続的な支援ができる。



江北中学校

議員 教育環境を考えた場合、これまで小学校には校庭も体育館もプールもある。中学校にも校庭も体育館もある、プールがないだけ。小中学校それぞれの場所に建設することが整備ではないか。その検討はされたのか。

学校づくり推進室長 シミュレーションはしている。中学校の体育館は引き続き使用。プール等は、検討事項、決定はしていない。

議員 シミュレーションとは非常に曖昧だ。本当に真剣に論議されているのか今の答弁では判らない。

議員 町長は小中一貫校・義務教育学校については消極的に見ていたと3月議会ですべている。今は、義務教育学校を主導的に進められている。その理由は、

町長 小中一貫校の整備理由として、少子化、財政的問題から再編統合をする例が多いが、町はそういう状況にはないため、また発言した時は、義務教育学校化の本当の意味が理解できていなかったこともあり、消極的に見ていたとの発言になった。今の時代、これからの時代を捉えて、町で行われる義務教育がどういふものがふさわしいかということを押進室で検討してもらっている。

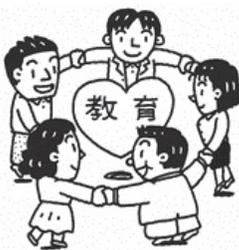
議員 小・中学校を同時に建設するには多額の費用が必要、どれくらいと考えているのか。国の支援は得られるのか。

学校づくり推進室長 設計はしていないため変動があることを前提として、約70億程度が予測される。

議員 教育は百年の計といわれている。町民とともに新しい学校づくりをするというならば、子供達・保護者をはじめ町民の意見を聞いて実施するよう、町民アンケートの実施を求める。

町長 実施は、教育委員会判断することだが、軽々にアンケートを取るといふことにはならないと思う。

教育長 即答はできないが、十分に検討して対応したい。



池田和幸
いけだかずゆき



議員

町内循環バスの見直しは

町長 町でしっかり考えて、絶えず町民のニーズに応えるのは我々の存在意義、テーマだと思う

議員 循環バスは通院や買物等でバスを必要とする交通弱者の移動手段及び小・中学生の通学手段の確保のため町内を運行。祐徳自動車㈱と委託契約をしている。

令和2年度から5年度まで当初予算が380万円で組まれているが、3年度までの決算額が当初予算より70%以上増額になっているのは問題では。

総務政策課長 コロナの影響もあり、決算額が増大している。

町長 来年度の当初予算は、直近の状況、または決算の状況も踏まえ、従来の単純な計算ではなく、精度の高い予算見積りをしたい。

議員 各乗車場所での利用者の人数は。

総務政策課長 令和4年度の実績、総数は9,618名で、乗車人数が最も多い停留所は江北

駅北口、次いで小田商店街入口となっている。

降車人数が最も多い停留所は江北小学校前、次いで観音下、小田商店街入口の順。

議員 コミュニティバスについて、国交省が定める自治体のガイドラインは活用できるのか。

総務政策課長 導入に関するガイドラインは、運送事業者へ委託して運送を行う乗合バスと

自家用有償旅客運送者の登録を受けて市町村が自ら行う市町村運営有償運送の2点が定義されている。本町の循環バスは、事業者へ委託して運送を行う乗合バスに分類されるため活用はできている。

議員 安定した運営で効果を上げるために検討する考えはあるか。

町長 町全体に色んな移動ニーズがあると思うが、循環バスを広げることだけでなく、町

内タクシー会社や福祉有償運送など、皆さんが気軽に移動できるような体制を作れるような可能な限り実現できればと思っている。

議員 既存の循環バスでカバーをすることのできない地域について何か考えはあるのか。

町長 循環バスの運行範囲を広げることが必ずしもニーズに応えることになるとは限らない。町民のニーズに

応えるための最善の方法を町でしっかり考える。絶えず町民のニーズに

応えるのは我々の存在意義であり、抱えておくべきテーマだと思う。

議員 上峰町では、コミュニティバスとして、通学バスと巡回バスの2つの組合せで運営をされている。この様な取り組みは考えられないか。

【上峰町】
 ☎コミュニティバス「のらんかい」
 ●通学バス
 運行日：月曜日から金曜日（春・夏・冬休みは運休）
 通学時間—1便 下校時間—2便（開校日、参観日は運行）
 運賃：1乗車につき50円（身体障害者等は無料）
 ●巡回バス（公共施設、病院、商業施設を運行）
 運行日：月曜日～土曜日 1日5便
 運賃：1乗車につき100円（身体障害者等は無料）
 🚖デマンドタクシー
 ●乗合タクシー（事前に利用者登録を行い、決められた時間までに乗車予約を行う）
 運行日：月曜日から土曜日 1日9便
 運賃：1乗車につき300円（身体障害者等は無料）

せることはできると思う。町で起きている萌芽を捉えて育てることをしっかりとやっていく。

議員 来年の予算で仕組みを変えるのは難しいと思うが、買物、通院等、あらゆる移動に対応するよう地元のタクシー会社を取り入れていただきたいが。

町長 町内で運営をされているタクシー事業者さんの協力なしには、町の移動手段の確保はできない。色々な意見交換もしながら、我々から積極的に協力をお願いしたい。

江北町総合排水計画の取組と排水対策協議会設立について



西原好文 議員

町長 流域治水協議会の中で、小城市・大町町と佐賀県も入っての実務者会議で、高良川そして牛津川の協議をしていく



排水対策協議会・排水対策連絡会の様子



議員 私は過去2度の大雨を経験し、色々な審議会等に出席をし、意見等も述べてきた。そういった経験から1日も早い排水対策協議会の設置を望んでいたところ、5月30日の開催と聞き驚いた。この時期に何を話すのか。

総務政策課長 町の総合排水対策計画に盛り込んでいる具体的な対策「流す、溜める、防ぐ」に基づき、各連絡会において事前落水の検証、また水門、ゲートの管理者の方が交代

されていたので新たな連絡体制の確認を行い、その結果を受け、協議会では取組み実績の報告、町全体に関する横断的な今後の課題等について情報共有し協議を行った。

議員 5月23日惣領分水系、24日には佐留志水系、25日には畑川水系、29日には古川水系と4水系の連絡会が開催されているが、もっと早い時期に行うべきでは。

総務政策課長 排水対策協議会の開催前には

排水対策連絡会を行って、そこから出された課題等を協議会に出していきたいと思っ

議員 5月6日、7日に大雨が降ったが、大雨が降る前に連絡会や協議会をするべきでは。

副町長 連絡会の開催が遅れたことは今後改善していきたい。また農繁期を避けて開催したい。

議員 国や県が実施する六角川水系の治水対策の協議の中で、小城市、大町町と協議を行っていく必要があると思うが。

町長 六角川流域治水対策協議会の中で実務者会議が設置されることになった。

今後は、小城市、大町町と高良川、牛津川の対策について協議し、その議論の内容についても議会と協議していきたいと思っ

町の個別施設計画について、その進捗率は

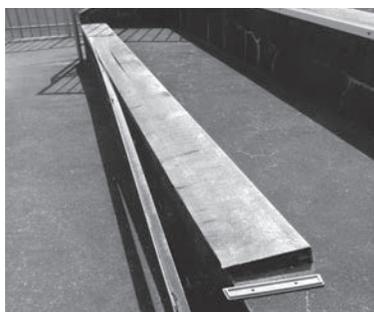
町長 花山球場の安全対策は、優先して対処すべきと思っ

議員 3月議会の総務常任委員会現場視察で花山球場へ出向きトイレと球場の観客席の視察を行った。観客席の留め金具は腐食しており危険な状態だった。今後どのような対応をしていくのか。

町長 花山球場の安全対策は一にも二にも優先して対処すべきだと思う。球場は老朽化が

進んでおり、対処法的に修繕をするのではなく、今後どこまで手を入れるのかの議論が必要と考えている。町内には花山球場を利用したい方が多くいる。ある程度の予算をかけて修繕をするからには町民の皆さんが利用することが前提であると思っ

利用できない花山球場の観客席



田中宏之
たなかひろゆき



議員

中山間地における溜池の維持管理は

町長 リモコン草刈り機についても是非研究させていた
だきそのニーズにはしっかりと応えていきたい

議員 町内には農業用
水用としていくつ溜池
があるのか。その維持管
理はどうしているのか。
地域振興課長 30ヶ所
あり活用している地区
で草刈り等の維持管理
をしている。

議員 草払いがどの
地区でも高齢化が進み
大変苦労している。そ
こで提案だがリモコン
式の草刈り機を町で購
入し、貸し出しをして
みてはどうか。この事
は必要と思われる
地区の区長会や生産組
合長会から要望書も出
ていると聞いている。
町としての考えは。

町長 同じ中山間地
にお住まいの方でも「そ
んな草刈り機は必要な
い。地域の事は地域で
協力して行うのが本来
の姿」と言われる方も
いる。実際、高齢化が
進み維持管理に苦労さ
れているのも事実だと
思う。色々な角度から

よく研究して町民の
ニーズにしっかりと応
えて行きたいと思う。



便利なリモコン草刈り機

子育て支援の充実と 高齢者に優しい施策

町長 高校生までの
医療費無償化は検討段
階に入らせてもらう

議員 全国的に少子
高齢化が進む中、出生
数が80万人を割った
と大きく報道された。
その理由の一つに、子
育てにお金が掛り過
ぎると若い夫婦は回
答している。そこで、
町としてもっと子育て

て支援の充実はでき
ないのか、たとえば高
校生の医療費や授業
料の完全無償化の考
えはないのか。

健康福祉課長 高校生
の医療費を無償化した
場合、620万円程度必
要だと想定している。

こども教育課長 高校
生の授業料の完全無償
化は検討していない。

町長 小中学校の給食
費の無償化の時も反対
はあったように色々な
考え方があがる。高校生
の医療費の無償化は公
約にもあげていたので
検討段階に入りたい。

議員 高齢者の免許
証返納に伴う不便の解
消の一つとして買い物
支援の状況は。また、中
山間地に移動販売車の
運行を検討する時期に
きているのでは。

健康福祉課長 現在、
町では支援が必要と
認められた方だけに
限定して行っている。

さらなる農業支援の充実を町に真剣 に考えてもらいたい

町長 十分と言う事はないという意識で
これからも取り組んでいきたい

議員 町では農業が
基幹産業といわれて
いる。その農業経営が
近年危機に脅かされ
ている。度重なる肥料

代等の値上がり、そこ
に追い打ちをかける
ように農産物の値下
がり。特に米表中心の
土地利用型の農業者
は悲鳴を上げている
のが現状。町からの農
業支援はまだ不十分
だと思ふ。更なる町単
独の農業支援の考え
は。

町長 町にとって農業
とは歴史的にも地理的
にも、又その影響を含
めて、必要不可欠な基
幹産業だと考える。町
に農業がある限り、農
業を営んでいる方がい
る限り、農業支援に終

わりはない。十分と言
う事はないという意識
で、これからも取り組
んでいきたい。

議員 令和4年度ふ
るさと応援寄附額と
返礼品のうち、農産物
の占める割合は。

地域振興課長 寄附
額は約10億5,300
万円、返礼品のうち、農
産物が81%を占める。

議員 寄附金をもっ
と農業支援に活用し
ても良いと思ふが。

町長 農業振興も含め
たところでしっかりと考
えていく。



農産物の返礼品

総務常任委員会

問 臭気対策として小学校トイレ7カ所に光触媒の塗布を行うが、7カ所でのよいのか。また洋式の数は十分なのか。

学校づくり推進室長

トイレの現状を確認し、光触媒の塗布を行う箇所を決定した。今後の状況、予算をみて塗布箇所を増やすか検討する。また、洋式化の数は、現状を確認し決定した数で妥当と考えている。



光触媒で得られる効果

目の申請、1地区は、今回3回目の申請。

問 コミュニティ助成事業補助金額は、地区が要望する額を助成額としているのか。

企画情報係長

今回の事業については、地区から要望があった金額が助成決定額となっている。

問 コミュニティ助成事業補助金を2回以上申請している団体があるか。

企画情報係長

申請を2回以上している団体はある。令和5年に申請された3地区のうち2地区は2回

問 コミュニティ助成事業の中の「地域防災組織育成事業」の内容について説明を。

総務政策課長

地域防災組織育成助成事業は、地域の自主防災組織で防災活動に必要な設備等を整備する際に申請し、助成が受けられる事業。過去の実績としてヘルメット、非常用の発電機、簡易トイレ等防災用品を整備された。

【整備品の例】



簡易トイレ



発電機



防災ベスト
トランシーバー



問 さわかスポーツセンターやネイブルB&Gトレーニングセンター、学校施設や社会体育施設に子ども達をはじめ利用者の熱中症対策のために温度計の設置を求める。

こども教育課長

デジタル温度計の価格を確認し、現在の予算で対応できるようであれば夏前には設置させていただく方向で検討したい。



熱中症対策として温度計&湿度計の早急な設置を

総務常任委員会
視察の実施

① B & G 体育館は、現在使用禁止となっている。今の状態でいつまでこのままでいくのか見極めていただきたい。



② 小学校のみんなのトイレは、外側に腐蝕しているような箇所があったので確認を。



産業厚生常任委員会

問 元気クーポン券6弾、全額国庫負担だが、大型店舗も使用可能となる、その効果は。

地域振興課長代理 全額コロナ交付金。物価高騰で町民が困っている。生活支援として、実施しなければならぬと考えている。クーポン券を100%届けるよう努力する。

問 江北駅自由通路等改修工事に関する契約金額(協定)は、2億5千万円となっている。

令和5年～6年度、2力年にわたる契約締結となれば、その都度議会の承認が必要ではないか。

基盤整備課長 3月議会で2力年にわたる事業として債務負担行為の承認を既に得ているため、2力年にわたる事業であるが、その都

度議会の承認をえる必要はない。議会議決後、今年度の実施協定を締結するようにしている。

問 待合室改修予定だが、改修計画の内容は。

基盤整備課長 自由通路が手狭になつていて、ため、長崎本線への乗り換えの方も利用できるよう待合室を改修する。コインロッカー設置の要望もあるため設置するようにしたい。

問 改修事業に地元業者が参入できるか。

基盤整備課長 「要望書」を作成し、JRへ地元事業者を利用してもらえよう要望活動を実施する予定。

問 東分中継ポンプの維持管理事故が原因で起きた町が補償すべき事故は1件だけか。

基盤整備課長 事故があったアパートの部屋は、下水管が一番集まった角に位置し、また放送等により事故の

ため下水使用抑制をお願いしていたが聞かれておらず、トイレを使用した結果、下水が部屋に溢れた事故の1件だけ。

住民の被害は、町が対応すべきであり、弁護士のアドバイスも受け、今回は、示談し、被害額を賠償することになった。

問 1月に発生した東分中継ポンプ維持管理事故の原因は。

基盤整備課長 事故が発生した原因は、無停電装置に虫やほこりが入り回線がショートし、装置が停止した事が発端。無停電装置が停止したため、機械に不具合がでた際の警報を確認できず、今回の事故が発生した。今後は、補正予算で故障した設備を修繕し、早急に対応する予定。

産業厚生常任委員会 町内視察

6月15日当委員会に付託された議案、及び案件に関連する町内数箇所の視察を行った。

上小田地区大谷溜池では、草刈り作業をされている農家の方より、堤での草刈り作業が困難である現状と町で自動草刈り機を購入し、貸出を実施してほしいとの要望を受けた。



農家の方から草刈りの状況を聞く



センチピートグラスの状況

新町区北側にある草場溜池では、センチピートグラスによる、草刈りの労を軽減する新たな取組みを見学。



下水道東分中継ポンプ場で、事故についての説明を受ける



江北駅自由通路で、改修予定の待合室の場所を確認

佐賀県政功労者知事表彰



池田 和幸 氏

吉岡 隆幸 氏

議会議員として20年間（平成15年～令和4年まで）の長きに渡り議員活動を通じて、地域の振興発展、住民福祉のために貢献されたとして前議会議員 吉岡隆幸氏、議会議員 池田和幸氏が表彰されました。

新しいフレッシュな広報委員が決まりました

委員	副委員長	委員長	委員	委員
田村	土淵	池田	酒井	古賀
康	茂勝	和幸	明子	里美

左より



編集後記

令和5年6月議会から新しい5人の委員で、議会だよりを発行していきます。議会の審議や条例改正、補正予算等、少しでも町民の皆様に分かり易く伝えていきたいと思えます。

昨年までは新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な行事等が制約されてきました。

今年に入り、少しずつ普段の生活に戻りつつあります。

町民の皆様に、楽しんでもらえる議会だよりになるように努力してまいります。

（池田）

